

第1学年 道徳科学習指導案

令和5年11月22日(水) 5校時
西原小学校 1年 3組 計30名
授業者 大城 英恵
共同研究者 砂川 光
下地 昌代

1 主題名・教材名

主題名:「みんなのためのきまり」 C 規則の尊重

教材名:「きいろいベンチ」(出典「小学校どうとく ゆたかな心1年」光文書院)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本時で扱う内容項目[C 主として集団や社会との関わりに関すること]の[規則の尊重]について、学習指導要領で学年段階ごとに次のように示されている。

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校[尊法精神・公德心]
約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。	法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。

低学年においては「約束やきまりを守り、みんな使う物を大切にすること」をねらいとしている。児童が成長し生活していく上で、集団や社会の一員として約束やきまりを守って行動することが重要である。そのために身近な集団の中で良好な人間関係を作ることが必要である。自分の思いのままに行動するのではなく、集団や社会のために自分になにができるか考え、進んで約束やきまりを守っていこうとする態度を養うことが必要である。

(2) 児童の実態について

この時期の児童はまだ自己中心性が強く、自分勝手な行動を取るなど、自分本位に考える子も少なくない。また身の回りの物や場所の使い方や過ごし方の理解も十分とは言えない。

以下がクラスのアンケートの結果である。

質問内容	回答集計結果(28名中(特支2名除く))
1、みんなでつかう物や場所を大切に使っていますか。	・いつも大切に使っている → 10名 ・あまり → 10名 ・ときどき → 8名 ・全然 → 0名
2、それはなぜですか。	・みんなが困る ・みんなが使う所だから ・物は大切だから ・壊したら困るから ・みんなが楽しめるように ・先生に怒られるから ・意識していないときがある ・忘れるときもあるし、やるときもある ・机にお絵描きをしているから ・たまにやっていない
3、学校のきまりが守れていますか。	・いつもきまりを守っている → 1名 ・あまり → 13名 ・ときどき → 12名 ・全然 → 2名
4、それはなぜですか。	・学校のきまりを覚えている ・意識が足りない ・やるときはやる ・ねばり玉がないから ・黙清掃出来ていない ・あんまり考えていないから ・先生に怒られるから ・スリッパを並べている ・スリッパを並べていないから ・する時もあるし、しない時もある

アンケートの結果より、みんなで使う物や場所を「いつも」「ときどき」大切に使っている児童の方が多いものの、「あまり」という児童もクラスに1/3程度いることが分かる。学校のきまりとなると、「いつも」守れていると自信をもって答える児童は減少し、「ときどき」「あまり」と回答する児童が多い。理由を見てみると、どちらも、「できる時とできない時がある」ということに気づいている児童も複数名見られた。

(3) 教材について

本教材は、男の子二人が雨上がりの公園で遊ぶことから始まり、ベンチやブランコを泥だらけにして遊んだ後で、おばあさんと女の子が登場し二人がはっと気がつくという話である。二人の心情やおばあさんと女の子の発言が少ないため、気持ちを言葉で理解することが難しい部分はある。その分を登場人物の気持ちを想像することで、それぞれの人物の気持ちに共感でき、多面的・多角的な見方ができる教材である。また、児童にとって身近な場所である公園の使い方から始まり、自分たちの身の回りの場所や物の使い方について、自分自身のことと結び付けて発展的に考えていける教材でもある。

(4) 指導観について

児童たちは、みんなで使う物や場所のきまりやルールを守ることが大切と頭の片隅では分かっているが、自分勝手な行動をとるなど、守れていないことがある。本時において、男の子二人のように実際に飛行機を飛ばし経験をさせることで二人の気持ちに共感させ、人間理解を深めたい。その上でおばあさんと女の子の気持ちも想像させることで、他者意識もはぐくみたい。

終末では、自分自身のことと結び付けて考えさせることで、みんなが気持ちよく過ごすためにきまりやマナーを守って、みんなで使う物や場所を進んで大切にしようとする意欲を高めたい。

3 校内研との関連

テーマ：自己肯定感を高め、未来に向かう児童の育成
～地域との関わりの中で自己を見つめる道徳教育を通して～

今年度の本校低学年の指導の重点として、以下の3つを挙げている。

A-3〔節度・節制〕健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整えわがまをしないで、規則正しい生活をする。

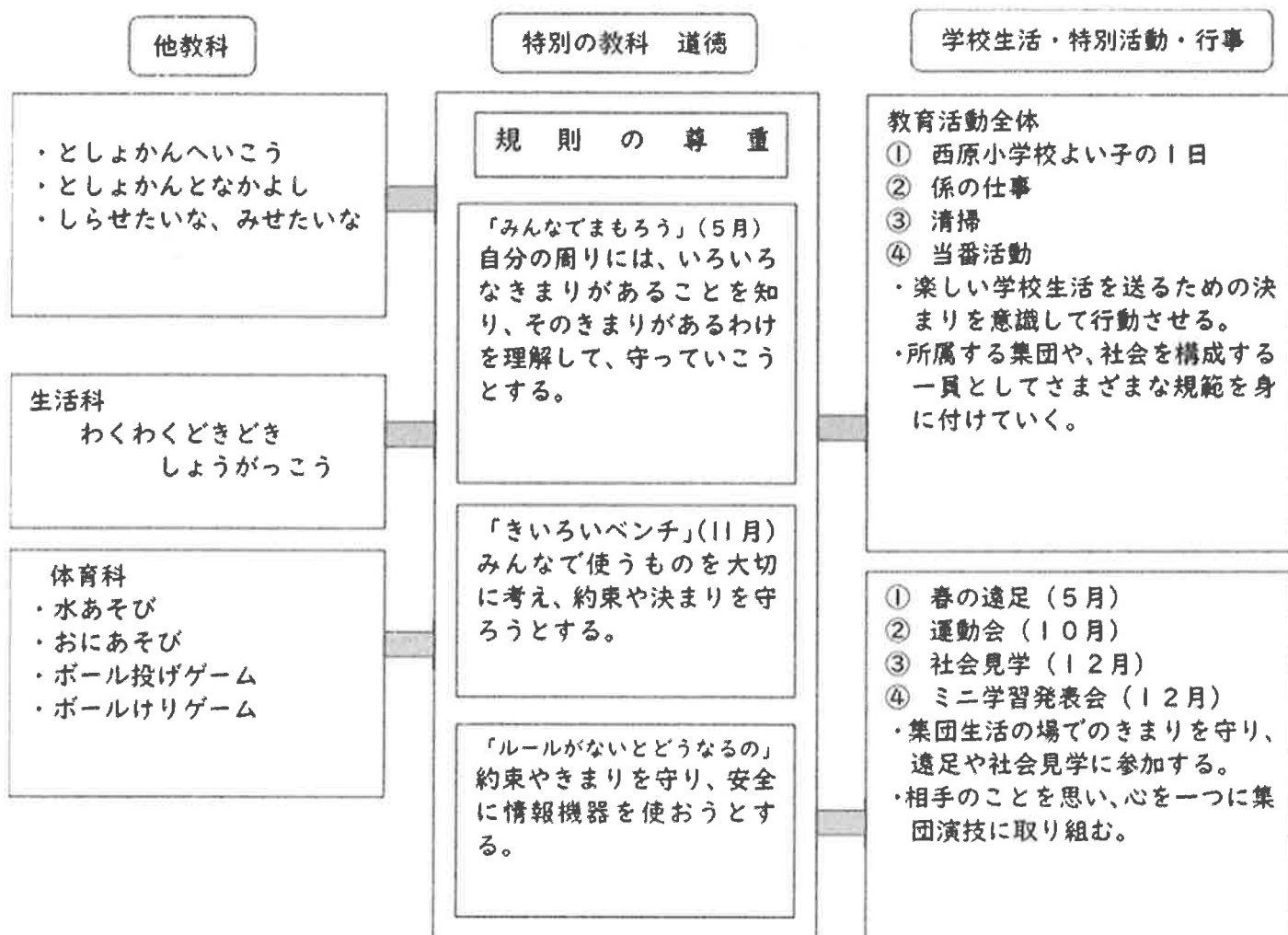
C-10〔規則の尊重〕約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にする。

D-17〔生命の尊さ〕生きることのすばらしさを知り、生命を大切にする。

これまで1学年では、遠足での体験を通して公共物の使い方について考えたり、学年集会の際にも学校のきまりや約束について話し合ったりする機会を設けてきた。また、道徳の授業においても、「みんなでまもう」の教材で、身の回りのきまりについて考える学習を行った。生活の中にはいろいろな約束やきまり・マナーがあり、自分自身を振り返りながら、約束やきまり・マナーを守って生活しようとする気持ちを育める指導を行ってきた。

今回は、身の回りにあるみんなで使う物や場所を大切に使うことのよさを考えることを通して、日頃の学校生活で物や場所を使う際の意識向上につなげたいと考える。また、みんなで気持ちよく過ごすために約束やきまり・マナーがあることに気付かせ、積極的に学校生活や地域の中で約束やきまり・マナーを守ろうとする心情を育みたい。

※他の教科活動との関連

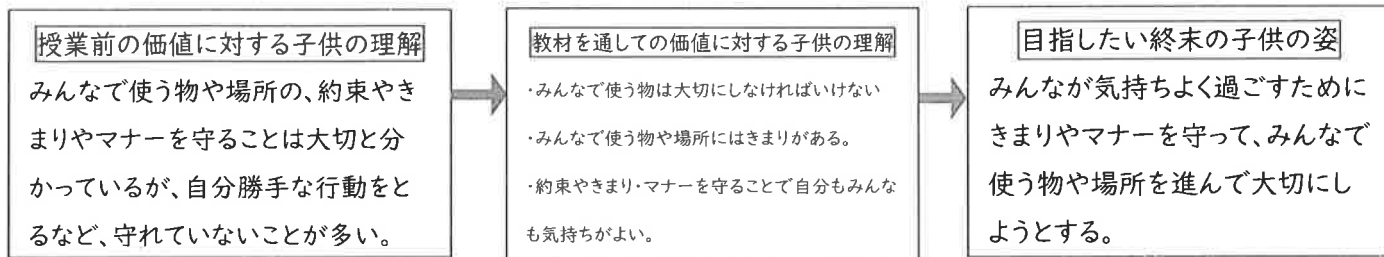


4 本時の授業

(1) 本時のねらい

みんなで使う物や場所を大切に考え、きまりやマナーを守ろうとする意欲を高める。

(2) ねらいとする価値への追求の見通し



(3) 本時の展開

段階	学習活動	主な発問 □基本・◎中心・○補助 ●児童の予想される反応	◆指導上の留意点 ◇評価
導入 5分	1 みんなが使う物や場所はどんな所があるか考える。	□みんなが使う物や場所はあるかな。 ●トイレ ●教室	◆みんなが使う物や場所の写真を掲示する。
	みんながつかうものについてかんがえましょう。		
展開 30分	2 教材を読み、主人公の行為や考え、判断の理由等を考える。	□みんなはこの2人どう思う？ ●ダメ。 ●楽しいからついやってしまった。 ○同じようにやってみたい気持ちある？ ●楽しい。やってみたい。 ○自分の気持ちを気持ちメーターに表しましょう。 ●やりたい ●やりたくない ◎なんで二人ははっとしたのかな？ ●女の子のスカートを汚してしまったから。 ●おばあさんに怒られると思ったから。 ●ベンチを汚すとみんなが困ることに気が付いたから。	◆状況を整理し、主人公たちの心情や判断の理由に共感できるようにする。 ◆実際に紙飛行機を飛ばさせ、主人公たちの気持ちに共感させる。 ◆気持ちメーターに自分の気持ちを表す。 ◆ワークシートに自分の考えを書く。
	3 みんなが使う物や場所をどのように使えばよいのか考える。	○みんなが使う物や場所ってどのように使えばよいのかな。 ●相手の気持ちを考える。 ●みんなで使う物は大切に使う。	◆児童の思考に沿って、柔軟に対応する。
終末 10分	4 自分たちのまわりの物や場所の使い方について振り返り、自分の考えを書く。	○これまでの自分を振り返ると、どうかな。 ●広場で走ってしまったことがある。 ●トイレのスリッパがぐちゃぐちゃだったから、並べた。 ●きれいに揃っていると気持ちがよい。 ●みんなが気持ちよく過ごせるように、廊下は走らないようにする。	◇約束やきまりはなんのためにあるのか、もしくは自分はどうすればよいかを考えられているか。

(4) 評価

①指導の評価

きまりやマナーは何のためにあるのかを考えることを通して、きまりやマナーを守ることの良さに気づかせることができたか。

②児童の評価

- ・きまりやマナーを守るとは自分やみんなも気持ちがいいということに気づき、きまりやマナーを守ってみんなで使う物や場所を大切にしようとする気持ちを持つことができたか。(発言・ワークシート)

(5) 板書計画

みんながつかうものについてかんがえよう

どうつかう?

きょうのきまり

きょうのマナー

みんながつかうものについてかんがえよう

どうつかう?

きょうのきまり

きょうのマナー

みんながつかうものについてかんがえよう

どうつかう?

きょうのきまり

きょうのマナー

(月 日)

37 きいろいベンチ

くみ なまえ
ばん

☆「はっ」としてかおを見あわせた二人は、どんなことをかんがえていたのでしょうか。



Cloud-shaped thought bubble with four horizontal lines for writing.

Cloud-shaped thought bubble with four horizontal lines for writing.

☆ふりかえり

これまでのじぶんのことや、これからどうしたいかなど、おもったことをかきましょう。

Large rectangular box with four horizontal lines for writing.



たかしさんと てつおさんは、
あさから ちかくの こうえんへ、
きのう つくった グライダーを
とばしに いきました。
「ひくい ところからじゃ、よく とばないよ。」
たかしさんが いいました。

みると、どての うえに
きいろい ベンチが あります。
「あの ベンチの うえから
とばそうよ。」
と てつおさんは いって、
ふたりは ベンチの うえから
とばす ことに しました。
ベンチの うえに のって、
なんども なんども、
むちゅうで とばしました。

こうえんには どんな
きまりが あるのかな。



37 きいろい ベンチ

いままで あめつづきだったのに、
きょうの にちようびは
すっかり はれあがった
よい てんきに なりました。



みんなて つかう もの



みんなの ための きまり
みんなが つかう ものには きまりが あります。
どうして きまりが あるのでしょうか。



じふんの もの

ほかに どんな
ものが あるか、
かんがえて
みよう。



みんなて つかう ものの きまりは
どうして あるのか、わかった ことを
はつぽうしよう。



みんなて つかう ものの きまりは
どうして あるのか、わかった ことを
はつぽうしよう。

「まあ、まあ、こんなに
どろだらけの ベンチに
すわって、スカートが
どろだらけですよ。」
おばあさんは おんなのことを
たたせ、どろを はたいて いまず。
たかしさんと てつおさんは、
はつと して かおを
みあわせました。

どうして たかしさんと
てつおさんは はつと したのかな。



すると、そこへ 五つぐらいの おんなのこを つれた おばあさんが
きました。
おんなのこは ベンチに かけよって こしかけ、
「おばあちゃん、はやく はやく。」
と よびました。

つかれた ふたりは、
すこし やすむ
ことに しました。
ベンチの よこに
ある ぶんこに
ならんで のりました。
たかしさんも
てつおさんも、
たったまま
ぶんこぶんこと
こきました。

たのしそうだけど、
これで いいのかな。

